



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月13日

上場会社名 オイシックス・ラ・大地株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3182 URL <http://www.oisixradaichi.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 宏平  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部本部長 (氏名) 山中 初 (TEL) 03(6867)1149  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		EBITDA		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	48,906	63.0	2,265	227.2	2,882	124.7	2,533	653.7
2018年3月期第3四半期	30,007	75.3	692	10.7	1,282	58.2	336	△21.8

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 2,530百万円(629.3%) 2018年3月期第3四半期 346百万円(△19.3%)

(注) 当連結会計年度の特異要因である、2018年10月1日付のらでいっしゅぼーや株式会社との吸収合併による税務上の繰越欠損金の継承、繰延税金資産の追加計上等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期と比較して大幅に増加しております。

また、添付資料2ページ「(1) 経営成績に関する説明」に記載のとおり、吸収合併以前に連結子会社でありましたらでいっしゅぼーや株式会社については、2018年3月1日から2018年9月30日までの7か月間の損益を連結しております。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	75.84	74.78
2018年3月期第3四半期	10.50	10.26

(注) EBITDAは、営業利益+減価償却費+のれん償却額としています。

(注) 当社は2018年4月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。また、2018年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首にこれらの株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	23,831	12,649	52.9
2018年3月期	19,846	10,048	50.6

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 12,617百万円 2018年3月期 10,045百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年3月期	—	0.00	—		
2019年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

通 期	売 上 高		営 業 利 益		EBITDA		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	64,000	60.1	2,200	146.8	3,000	79.6	2,300	869.4	68.86

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

（注）EBITDAは、営業利益＋減価償却費＋のれん償却額としています。

（注）当社は2018年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 有

（注）当第3四半期連結会計期間において、らでいっしゅぼーや株式会社は2018年10月1日付で当社と合併の上解散したことにより、連結の範囲から除いております。

- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

- （4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	33,581,364株	2018年3月期	33,102,356株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	3,692株	2018年3月期	3,340株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	33,403,388株	2018年3月期3Q	32,019,627株

（注）当社は2018年4月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。また、2018年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首にこれらの株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・「2019年3月期 第1四半期決算短信」より、日付の表示を和暦から西暦に変更しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策などの効果もあり緩やかな景気回復基調で推移したものの、個人消費におきましては、依然として先行きが不透明であり、お客様の選別の目が一段と厳しくなっております。

近年のEC業界においては、スマートフォンの一層の普及やSNS等を活用した販売経路の多様化が進む中で、市場における価格・サービス競争は激しさを増しており、配送員等の人手不足を背景とした物流コストの上昇や、大手流通における食品宅配サービス事業への参入など、取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

一方で、共働き世帯の増加や健康志向の上昇など、ライフスタイル・価値観の変化に伴う消費者ニーズがますます多様化する中、近年、国内においてはミールキット市場が拡大しております。また、当社の主たる事業領域である安全性に配慮した食品業界においては、安心・安全に対する消費者の意識が引き続き高い状況にあります。

このような環境の中、当社は、会員制食品宅配事業において約30年の歴史を持つらでいっしゅぼ一や株式会社を2018年2月に子会社化、両社のシナジーを最大限に発揮するため、同年10月には合併による経営統合を行い、成長市場である食品EC市場において、既存サービスであるO i s i x及び大地を守る会に、らでいっしゅぼ一やを加えた3ブランドの独自性・競争優位性の確立に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は48,906,257千円（前年同期比63.0%増）、営業利益は2,265,861千円（前年同期比227.2%増）、EBITDAは2,882,460千円（前年同期比124.7%増）となりました。

また、当連結会計年度の特殊要因である、2018年10月1日付のらでいっしゅぼ一や株式会社との吸収合併による税務上の繰越欠損金の継承、繰延税金資産の追加計上等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比大幅増となる2,533,372千円（前年同期比653.7%増）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、らでいっしゅぼ一や株式会社の子会社化に伴い、同社の四半期損益計算書を四半期連結損益計算書に含めておりますが、従来、決算日が2月28日である同社については、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について連結上必要な調整を行ってまいりました。2018年10月1日を効力発生日として、当社が同社を吸収合併することを決定したことを契機に、より適切な連結財務諸表の開示を行うため、第1四半期連結会計期間より連結決算日に本決算に準じた仮決算を行う方法に変更してまいりました。

この変更により、当第3四半期連結累計期間は、2018年3月1日から2018年9月30日までの7か月間を連結しております。

#### ①宅配事業（O i s i x）

インターネットを通じて主に食品・食材の直販を行う宅配事業（O i s i x）においては、ミールキットサービス「Kit0isix」が引き続き好評を博するなど、定期宅配サービス「おいしくすくらぶ」会員数が、前連結会計年度末（2018年3月末）の169,664人から、当第3四半期連結会計期間末（2018年12月末）には197,272人へ増加しており、期初計画を上回って推移しております。会員数の増加による売上高の増加に加えて、原価率の改善や注文単価の上昇による利益率の上昇により、セグメント利益が大きく増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	22,190,933千円（前年同期比20.1%増）
セグメント利益	3,371,816千円（前年同期比39.2%増）

#### ②宅配事業（大地を守る会）

カタログやインターネットを通じて主に食品・食材の直販を行う宅配事業（大地を守る会）においては、新規会員獲得のための販売促進費を投下しており、会員数が、前連結会計年度末（2018年3月末）の44,993人から、当第3四半期連結会計期間末（2018年12月末）には48,670人へ増加しております。一方で、購入頻度が減少したことにより、売上高はほぼ横ばい、新規会員獲得のための販売促進費を抑制した前年同期からの反動減などにより、セグメント利益は減少しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	8,405,670千円（前年同期比 1.2%減）
セグメント利益	1,274,440千円（前年同期比13.6%減）

③宅配事業（らでいっしゅぼーや）

カタログやインターネットを通じて主に食品・食材の直販を行う宅配事業（らでいっしゅぼーや）においては、新規会員獲得のための販売促進費を抑制し、サービスの進化に注力したこともあり、会員数が、前連結会計年度末（2018年3月末）の88,752人から、当第3四半期連結会計期間末（2018年12月末）には73,364人へ減少しておりますが、概ね計画通りに推移しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	14,346,461千円
セグメント利益	2,657,257千円

④その他事業

当セグメントは、ソリューション事業、店舗事業、海外事業、卸事業等からなるその他事業であります。第1四半期連結会計期間より、らでいっしゅぼーや株式会社の卸事業の業績が加わっております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	4,198,825千円（前年同期比28.6%増）
セグメント利益	454,032千円（前年同期比16.7%減）

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して3,984,171千円増加し、23,831,051千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して3,293,197千円増加し、18,554,770千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加1,074,126千円、売掛金の増加1,482,283千円、商品及び製品の増加420,314千円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して690,973千円増加し、5,276,281千円となりました。これは、有形固定資産の増加135,418千円、無形固定資産の減少72,736千円、投資その他の資産の増加628,292千円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して1,383,094千円増加し、11,181,687千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して1,374,239千円増加し、10,103,924千円となりました。これは主に、買掛金の増加1,228,755千円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して8,854千円増加し、1,077,762千円となりました。これは主に、資産除去債務の増加20,575千円、長期借入金の増加16,981千円、その他固定負債の増加8,238千円、退職給付に係る負債の減少37,839千円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して2,601,076千円増加し、12,649,364千円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益2,533,372千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年1月24日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,236,330	8,310,456
売掛金	5,415,701	6,897,985
商品及び製品	918,137	1,338,452
仕掛品	4,435	45,768
原材料及び貯蔵品	207,590	255,431
未収入金	1,335,994	1,503,108
その他	300,077	389,246
貸倒引当金	△156,696	△185,680
流動資産合計	15,261,572	18,554,770
固定資産		
有形固定資産	878,426	1,013,844
無形固定資産		
のれん	1,506,089	1,251,399
その他	877,657	1,059,610
無形固定資産合計	2,383,747	2,311,010
投資その他の資産	1,323,134	1,951,426
固定資産合計	4,585,307	5,276,281
資産合計	19,846,880	23,831,051
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,097,110	5,325,866
1年内返済予定の長期借入金	6,012	7,067
未払金	3,076,648	3,190,942
未払法人税等	266,572	181,373
賞与引当金	90,477	51,397
ポイント引当金	147,754	145,422
資産除去債務	66,000	66,000
その他	979,109	1,135,855
流動負債合計	8,729,685	10,103,924
固定負債		
長期借入金	41,296	58,277
役員退職慰労引当金	3,300	4,200
退職給付に係る負債	458,874	421,034
資産除去債務	282,649	303,225
その他	282,787	291,025
固定負債合計	1,068,907	1,077,762
負債合計	9,798,592	11,181,687
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,259,797	1,283,056
資本剰余金	5,274,175	5,297,428
利益剰余金	3,510,139	6,043,511
自己株式	△2,065	△2,615
株主資本合計	10,042,046	12,621,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,693	3,343
為替換算調整勘定	△1,030	△7,291
その他の包括利益累計額合計	3,662	△3,948
非支配株主持分	2,578	31,930
純資産合計	10,048,288	12,649,364
負債純資産合計	19,846,880	23,831,051

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	30,007,511	48,906,257
売上原価	15,957,049	25,592,895
売上総利益	14,050,462	23,313,362
販売費及び一般管理費	13,357,929	21,047,500
営業利益	692,533	2,265,861
営業外収益		
受取利息	566	153
受取配当金	4,452	5,648
受取補償金	6,461	9,208
その他	33,867	61,004
営業外収益合計	45,348	76,015
営業外費用		
支払利息	498	1,501
株式交付費	428	477
為替差損	1,719	3,751
持分法による投資損失	3,133	43,361
その他	3,907	4,886
営業外費用合計	9,687	53,978
経常利益	728,194	2,287,898
特別利益		
関係会社株式売却益	—	3,123
特別利益合計	—	3,123
特別損失		
退職給付制度改定損	92,222	—
賃貸借契約解約損	—	40,159
固定資産売却損	—	11,741
減損損失	6,300	—
特別損失合計	98,523	51,900
税金等調整前四半期純利益	629,671	2,239,121
法人税、住民税及び事業税	221,182	311,441
法人税等調整額	71,669	△610,369
法人税等合計	292,851	△298,928
四半期純利益	336,820	2,538,049
非支配株主に帰属する四半期純利益	684	4,676
親会社株主に帰属する四半期純利益	336,135	2,533,372

（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）
四半期純利益	336,820	2,538,049
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,360	△1,349
為替換算調整勘定	△214	△6,261
その他の包括利益合計	10,145	△7,610
四半期包括利益	346,965	2,530,438
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	346,281	2,525,762
非支配株主に係る四半期包括利益	684	4,676



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	宅配事業 (Oisix)	宅配事業 (大地を守る 会)	宅配事業(ら でいっしゅ ぼーや)	計			
売上高							
外部顧客への売上高	18,481,346	8,508,223	—	26,989,569	3,017,941	—	30,007,511
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	245,923	△245,923	—
計	18,481,346	8,508,223	—	26,989,569	3,263,865	△245,923	30,007,511
セグメント利益	2,421,587	1,475,890	—	3,897,477	545,146	△3,750,091	692,533

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソリューション事業・店舗事業・海外事業・卸事業等を含んでおります。
2. 「調整額」のセグメント利益における主な内容は、固定人件費及び各事業セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	宅配事業 (Oisix)	宅配事業 (大地を守る 会)	宅配事業(ら でいっしゅ ぼーや)	計			
売上高							
外部顧客への売上高	22,190,933	8,405,670	14,346,461	44,943,066	3,963,190	—	48,906,257
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	235,634	△235,634	—
計	22,190,933	8,405,670	14,346,461	44,943,066	4,198,825	△235,634	48,906,257
セグメント利益	3,371,816	1,274,440	2,657,257	7,303,514	454,032	△5,491,684	2,265,861

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソリューション事業・店舗事業・海外事業・卸事業等を含んでおります。

2. 「調整額」のセグメント利益における主な内容は、固定人件費及び各事業セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、2018年2月28日にらでいっしゅぼーや株式会社の株式を取得し、らでいっしゅぼーや株式会社を連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度より、報告セグメント「宅配事業（らでいっしゅぼーや）」を追加しております。

なお、吸収合併以前に連結子会社であった同社については決算日である2月28日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については必要な調整を行ってりましたが、第1四半期連結会計期間より、同社については連結決算日に本決算に準じた仮決算を行う方法に変更しております。

この変更により、当第3四半期連結累計期間は、2018年3月1日から2018年9月30日までの7か月間を連結しております。

同社の2018年3月1日から2018年3月31日までの売上高は宅配事業（らでいっしゅぼーや）セグメントが1,508,490千円、その他事業が88,844千円、セグメント利益又はセグメント損失（△）は、宅配事業（らでいっしゅぼーや）セグメントが253,820千円、その他事業が△8,446千円、調整額が△175,449千円であります。